

笑顔で学ぶ 久留米市教育委員会発行  
No. 9 (平成26年7月)

# くるめっ子通信

久留米市教育委員会 総務・学校教育課  
〒830-8520 久留米市城南町15番地3  
TEL0942-30-9213 FAX 0942-30-9719  
E-mail:kyouso@city.kurume.fukuoka.jp



## 自然の中でやりとげた満足感



長門石小学校の5年生児童（61名）が、5月28日～30日にかけて、長崎県諫早青少年自然の家で、集団宿泊活動を実施しました。

上の写真は、その際に沢登りをしたときの様子です。川と巨大な岩からなる森の中を、仲間で助け合い、励まし合いながら登っていきました。川は、水が冷たく、滑りやすかったため「怖い」と感じる児童もいましたが、友だちから手を差し伸べてもらうことで全員が無事に最後まで登ることができました。日頃の学校生活では経験できない貴重な体験となりました。



【友達と協力してご飯を作る様子】

### 「豊かな心」を育てます

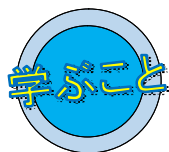
久留米市では、人間関係をつくる基盤として、自分を大切に思う心や、自分と同じように他者も大切に思う心、素晴らしいことに感動する心などの「豊かな心」を育む取組を行っています。集団宿泊活動では、学校では体験できないような活動を仲間とともに行うことで、子どもたちの道徳性や社会性の向上を図ることを目的としています。

# 「笑顔で学ぶくるめっ子」に向かって

## キャリア教育を全小・中・高・特別支援学校で実施

子どもたちは皆、将来社会に出ていきます。その準備をするのは学校の大切な役割です。そこで、久留米市では、子どもたち一人一人が、**社会人・職業人として自立するため**に必要な力を育み、社会の中で自分の役割を果たしながら、**自分らしい生き方を実現できる**ようキャリア教育を推進しています。

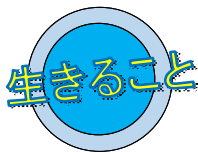
「学ぶこと」「働くこと」「生きること」この3つを関係づける教育をキャリア教育と言います。



学んだ内容が実生活でどのように役立つのか、考える



働くことを通してどのように社会に貢献していくのか、考える



学ぶこと、働くことを通してどのように生きるのか、考える

### 子どもたちの課題

- ・ 学びに対する興味・関心の薄さ
- ・ 将来との関連性が見えない学び
- ・ 自己肯定感の低下
- ・ 社会の一員としての意識の弱さ
- ・ 自己を取り巻く環境への不適応



なぜ、勉強するの？  
「学習意欲」「学習習慣」  
→現在の学習と実生活のつながり

「不安」将来や進路が怖い  
「無知」えっ、そんなことがあるの  
→わたしの将来の進路は？

## これがキャリア教育です

キャリア教育は、学校の教育活動において取り組むことはもちろんですが、社会や職業に関わる現場での体験的な学習活動が不可欠であり、企業や家庭、地域社会等、**様々な立場の人々が協働して取り組む**必要があります。

特に**家庭は、子どもの成長を支える重要な場**であり、次のようなことを心がけましょう。

「未来を支える生活習慣を」子どものやる気と元気のために規則正しい生活習慣を作りましょう

「家族の一員としてのふさわしい役割を」子どもの成長に応じた仕事（家事）を分担しましょう

「家族の会話で夢を育む」会話はコミュニケーションの基本、人と関わる能力を育てるためにも、  
家族の会話を大切にしましょう

「地域社会との関わりを」地域の行事やボランティア活動に子どもたちと一緒に参加しましょう

## 保護者と学ぶ規範意識

写真は、諏訪中学校で行われた「保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業」の講演会の様子です。1年生が保護者と共にインターネットやスマートフォンによる誹謗中傷・いじめ等の被害の深刻さと危険性について具体的に学びました。生徒と保護者からは「スマートフォンの危険性が良くわかりました」、「使い方を親子でもう一度確認したいと思います」などの感想が寄せられました。



## 早寝・早起き・朝ごはん



各学校では「健やかな体」の育成のため、食育に関する取組を行っています。

荒木小学校では、学校・地域・家庭が連携した取組が行われています。写真は、親子料理教室の様子や、生ゴミをリサイクルして作った肥料で育てた大根を収穫している様子です。大根は給食のおみそ汁で食べました。これらの取組を通じて、子どもたちは生活習慣の確立や生活リズムの向上を図るとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることの大切さを学んでいます。

## 快適な学習環境

近年、夏の最高気温が上昇していることから、暑い日でも子どもたちが学習に集中できるように、久留米市では約22億円の予算を計上して、小中学校の普通教室887教室に空調機を整備します。中学校は今年の夏から、小学校は来年の夏から空調機の使用を開始する予定です。

中学校では、夏休み期間中に、希望者等を対象に補充学習を実施します。1学期の学習内容の復習を中心に、基礎基本の定着を図ることを目的とします。

快適な学習環境が、子どもたちの学力向上に繋がることを目指します。



# 子どもたちの読書活動推進に向けて

本を読むことは、「確かな学力」「豊かな心」を育成するために、大変重要な役割を果たします。具体的な効果としては、

- 使うことのできる言葉（単語）の種類が豊富になる。
- 文章表現力が向上する。
- 想像力、記憶力、思考力が育つ。
- 偉人や先人たちの足跡をたどり、そこから多くのことを学ぶことができる。
- 逆境を乗り越える話の本を読むことで、失敗や挫折に耐える力が育つ。
- 自分の行動や考え方を別の立場から認識する能力が育つ。



等があります。

子どもの読書活動には、家庭での読書環境（「周りに本があること」、「本を読んでいる人がいること」）の違いが大きく影響します。ぜひ、ご家庭で、子どもたちへの読書の声掛けや環境づくりをお願いします。

## ～青木小学校の取組～

市内の各小・中学校では、様々な読書活動推進の取組を行っています。写真は、青木小学校の子どもたちが熱心に本を読んでいる様子です。子どもたち自身が本を紹介する「図書委員おすすめの本の紹介コーナー」や、学校図書館司書が本を紹介する「図書の宅急便」は学校で大人気です。その他にも、朝の読書タイムの設定や「青木小ベスト 30 コーナー」の設置、地域のボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行いながら、読書活動の活性化を図っています。このような取組により、青木小学校では、本を読む子どもたちが増え、図書貸出冊数も飛躍的に伸びています。



## 自分の大切な「歯」を守ろう -むし歯予防の3つのすすめ-

### 1 1日3回、歯磨きをしましょう。食後の「うがい」も効果的です。

むし歯を予防するためには、食事の後や寝る前の歯磨きが大切です。朝、昼食後、就寝前の1日3回、歯磨きをしましょう。食事の後の口の中には、むし歯の原因となる食べカスなどがたくさん残っています。そのままにしておくとむし歯の原因になります。時間がない場合は、食後の「うがい」が効果的です。



福岡県歯科衛生士会  
大久保 嘉子 さん

### 2 規則正しい生活をしましょう。

むし歯を予防するためには、規則正しい生活リズムが大切です。食事の時間が不規則だったり、就寝時間が遅かったりして、食べ物が口に入っている状態が長時間続く「だらだら食い」になると、歯を溶かす酸が口の中で作られ続け、むし歯の原因になります。食事の時間をしっかり決め、生活リズムを整えましょう。

### 3 家族で「歯」の大切さについて話をしましょう。

私たち人間は、生きるために食べていくことが必要です。健康な体をつくるためには、何でもおいしく食べるための丈夫な歯を生涯にわたって保っていくことが大切です。家族で「歯」の大切さについて話をし、関心を持つことは、歯みがきの習慣をつけるためにも、大変有効です。